


# 竹粉碎機(GS122GB)

## 使用手順書

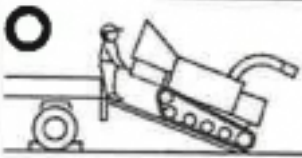


## ⚠ 危険

**×**



**○**



ゆっくり  
乗 ← 後進  
降 → 1速

## ⚠ 危険



■ 停止中、運転中にかかわらず、送りローラーに触れないようにして下さい。

■ 整備を行う時は、エンジンを停止し、送りローラーに挟まれないように注意して下さい。

## ⚠ 危険

■ 材料を投入する際、材料が暴れたり、投入口から粉砕物の破片が飛び出してくることがありますので投入口の正面に立つのを避け脇に立って作業を行って下さい。

## ⚠ 危険



■ 運転時には必ず安全カバーを装着して下さい。

■ 運転時は回転部分に身体を近づけないでください。

## ⚠ 危険



■ チッパーナイフを扱う際は、必ず保護手袋を着用して下さい。



■ 作業前にはロータカバーの固定ネジがきちんと締まっているか確認して下さい。

## ⚠ 注意



マフラー高温注意

マフラーおよびその付近に触れないでください。


## ⚠ 危険



・チップ排出方向はチップが飛び出して危険です。


・安全を確認して作業を行って下さい。

## ⚠ 注意



■ 作業時にはヘルメットまたは帽子、安全靴、保護メガネ、防音保護具(耳栓)、保護手袋、長袖、長ズボンを着用して下さい。

## ⚠ 注意



移動する時は、延長ガイドを上にしたんて下さい。傾斜が変わった時や突起物と接触することがあります。

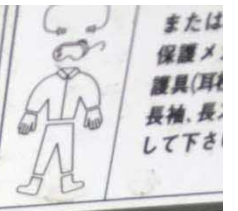
燃料コック

チョークレバー

14.0 EX40 PREMIUM

6. 本機に異常を感じた場合は、作業を中止し点検して下さい。
7. 作業中の点検はエンジンを停止し、回転部が完全に止まってから行って下さい。
8. 本機から離れるときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止したことを確認してからエンジンのキーを抜き取り保管して下さい。
9. 作業終了後は、必ず本機各部の点検、清掃を十分行って下さい。

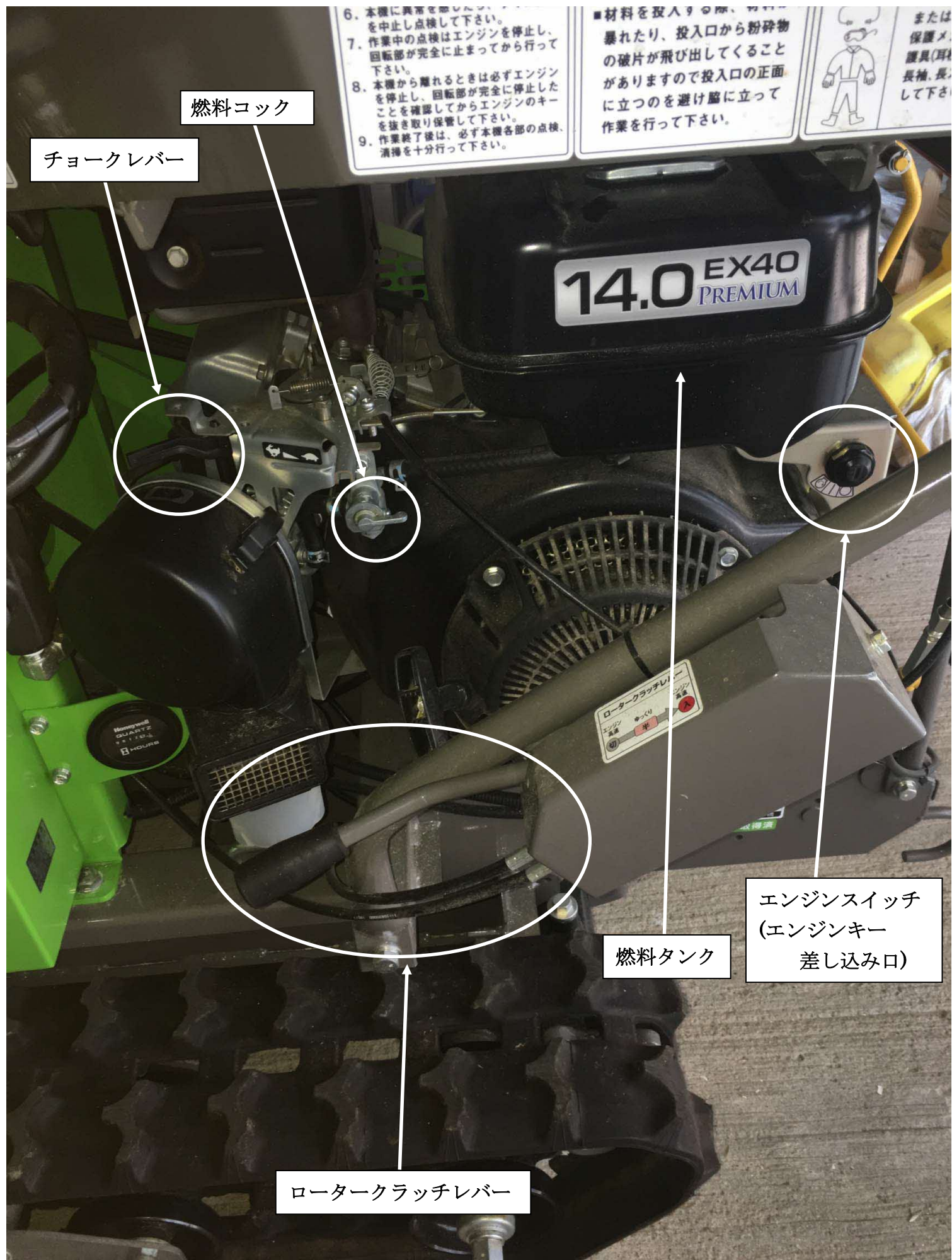
■材料を投入する際、材料が暴れたり、投入口から粉砕物の破片が飛び出してくることがありますので投入口の正面に立つのを避け脇に立って作業を行って下さい。



エンジンスイッチ  
(エンジンキー  
差し込み口)

燃料タンク

ロータークラッチレバー



非常停止ボタン

送りスイッチ

粉碎モードスイッチ

投入口

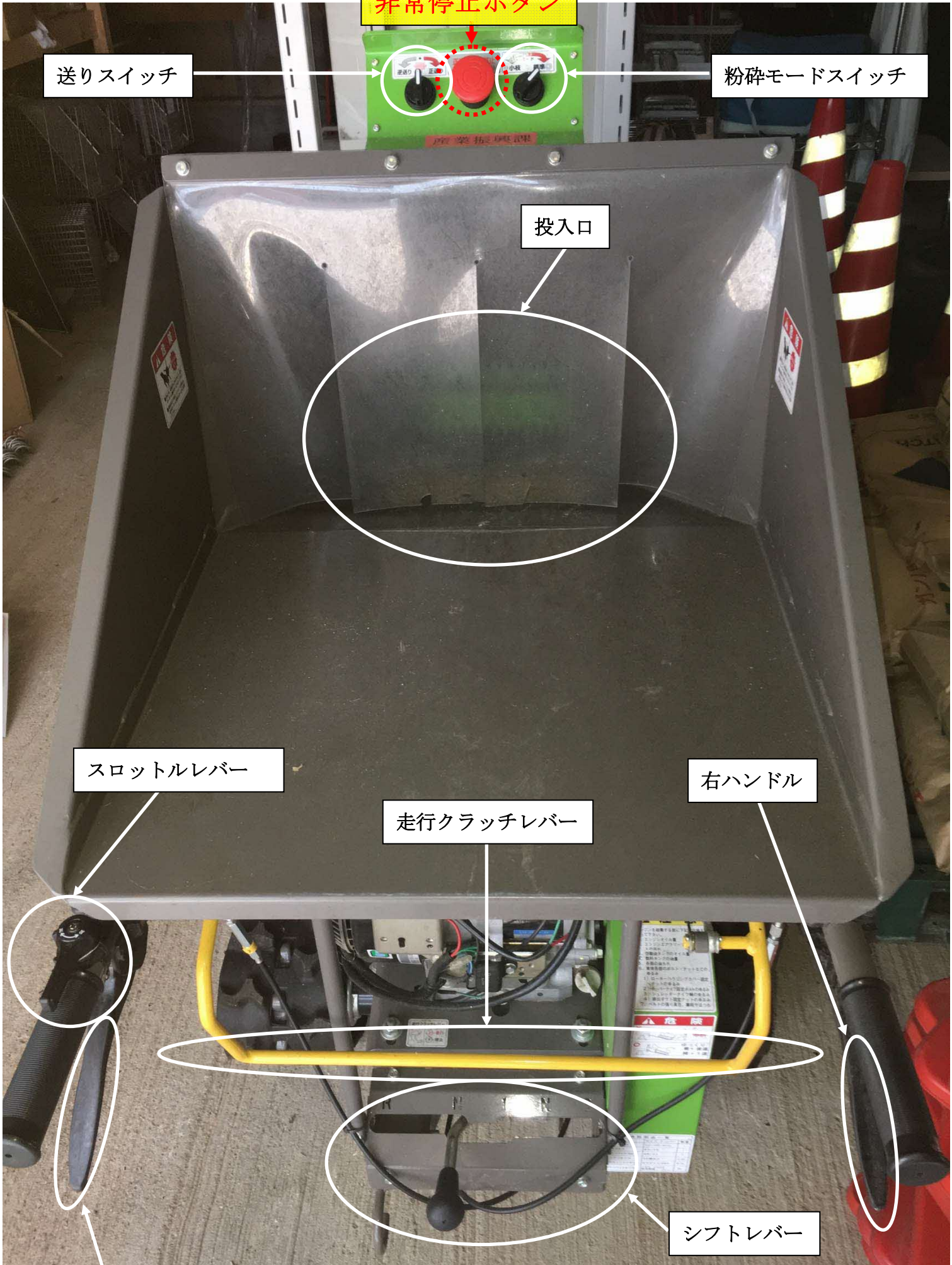
スロットルレバー

右ハンドル

走行クラッチレバー

左ハンドル

シフトレバー



# 竹粉碎機を安全に使用していただくために

## エンジン始動、移動の仕方

- ① エンジンをかける前に、走行クラッチレバーが「切」の位置、シフトレバーが「N」の位置にあることを確認してください。

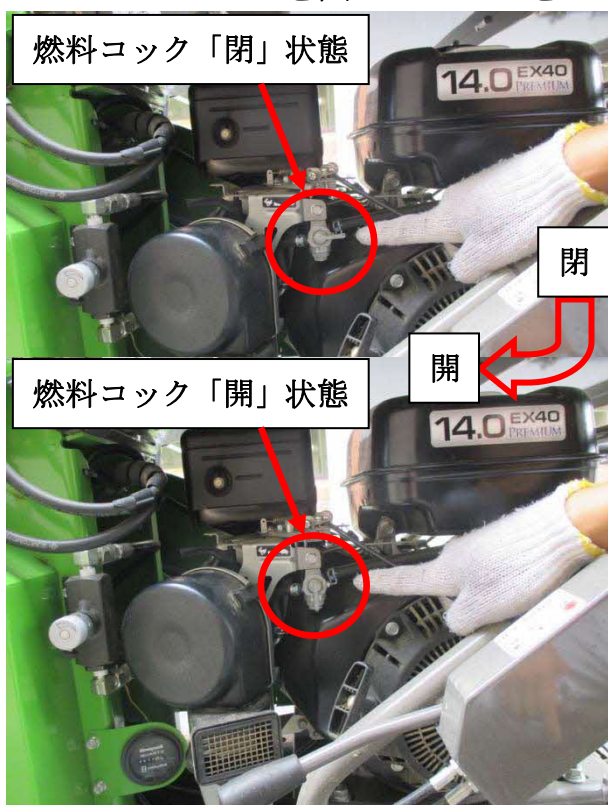


走行クラッチレバー「切」状態



走行クラッチレバー「入」状態

- ② 燃料コックを「開」、チョークを「閉」にします。  
エンジンキーを回しエンジンをかけ、チョークを徐々に「開」に戻します。

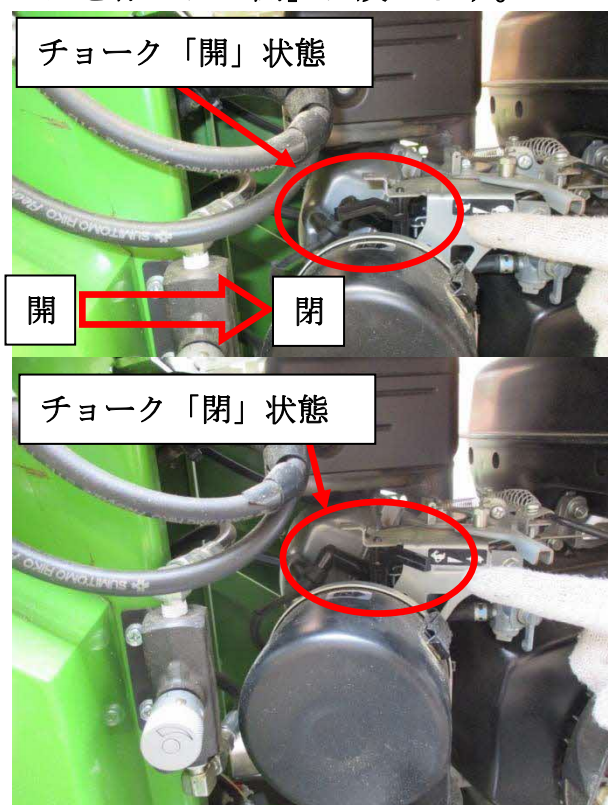


燃料コック「閉」状態

閉

燃料コック「開」状態

開



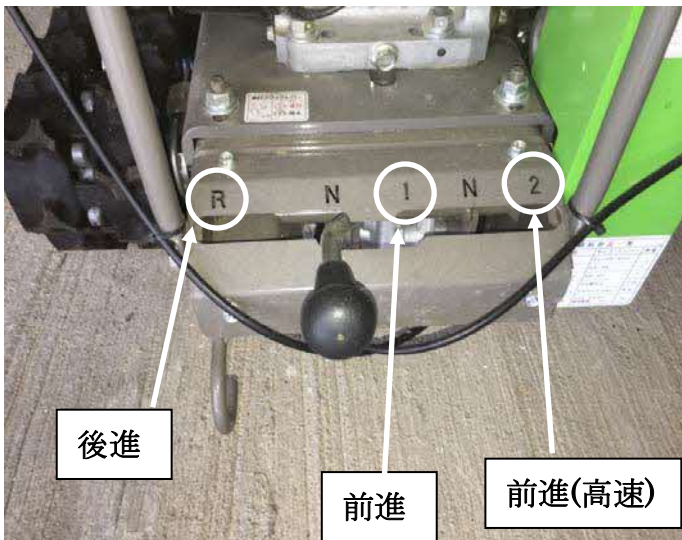
チョーク「開」状態

開

閉

チョーク「閉」状態

③シフトレバー「1」又は「2」が前進、「R」が後進です。(2のほうが速いです)  
「1」、「2」、「R」の状態で行走クラッチレバーを「入」にすれば動きます。



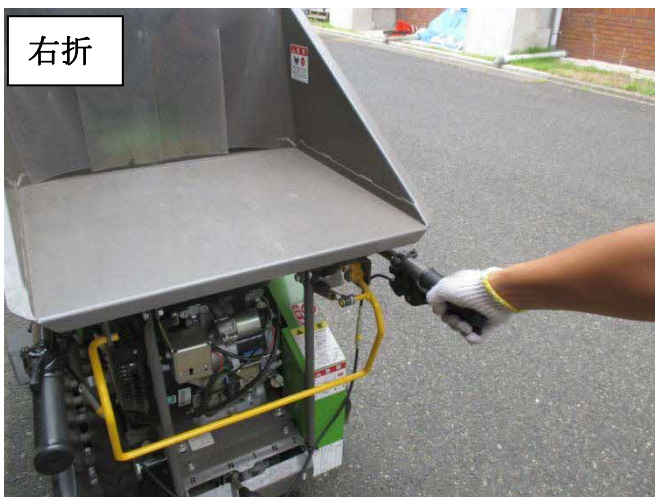
④手元のレバーで左右移動します。(右折は右のみ、左折は左のみ握ってください)

※機械の積み下ろしの際は、必ず機械を下にしてください。

※必ず、平坦な場所で積み下ろし作業をしてください。

※積み下ろし用のレールは適切に使用してください。

(不適切に使用されますと落下などの事故に繋がります)

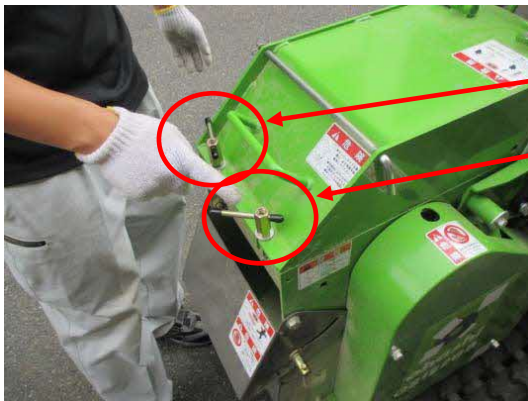
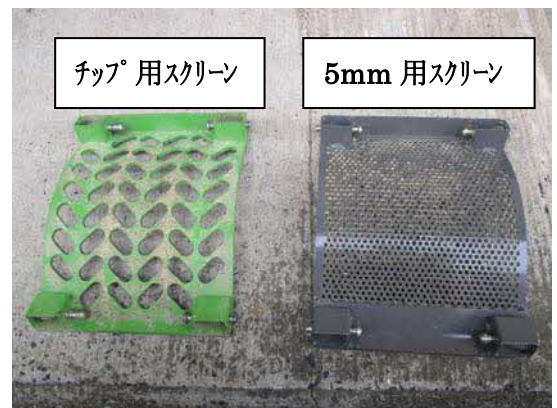


**重要**

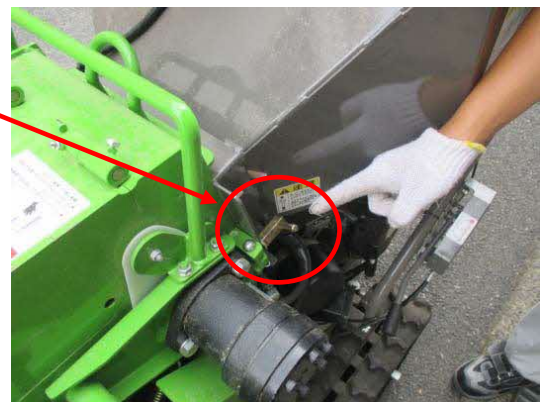
機械の積み下ろしは、  
必ず、この体勢で行ってください。  
反対の体勢で作業すると、  
重大な事故に繋がります。

# 竹粉碎の仕方

- ① エンジンを始動する前に各部位のネジに緩みが無いか、カバーが閉まっているか、確認してください。  
粉碎後のチップの大きさを決めるスクリーンをあらかじめ取り付け  
おいてください。



始動前に緩みが無いか確認してください。



- ② 粉碎場所に機械移動後、走行クラッチレバーを「切」、シフトレバーを「N」にします。スロットルレバーを「低」から徐々に「高」にします。



スロットルレバー「低」状態



スロットルレバー「高」状態

- ③ ロータークラッチレバーを5秒ほどかけてゆっくり「入」に上げていきます。投入口上部の送りスイッチを「正送り」にすると投入口のローラーが回転します。  
※ローラーを回転させる前に投入口に物が無いか確認してください!!



- ※ローラーが回転しない時は、以下を確認してください。
- ※ローラー回転後、**非常停止ボタン**の動作確認をしてください。



非常停止ボタンを押した後、右に回すと解除出来ます。



送りスイッチが「停止」状態の時は、ローラーが回転しません。



スロットルレバーが「高」の位置にありますか？

- ④ ローラーが正常に回転したら、竹の投入が可能です。
- 竹を投入したら、背面のチップ排出口から勢いよく竹チップが排出されます。

※周辺に人がいないことを確認してください



この部分が回転したら、竹の投入が可能です。



粉碎が始まったら、竹が左右に振れて危険ですので、離れてください。



⑤ 直径 12mm 以下の竹であれば、粉碎可能です。

また、13mm 以上の竹でも半分に割れば、粉碎可能です。

※本機は竹専用粉碎機です!!(木などを粉碎されますと刃が破損します)

※竹投入時に異物(金属片、工具)が無いことを確認してください!!

**重要**

ローラーに手、異物を巻きこんでしまった場合は  
すぐに非常停止ボタンを押してください!!



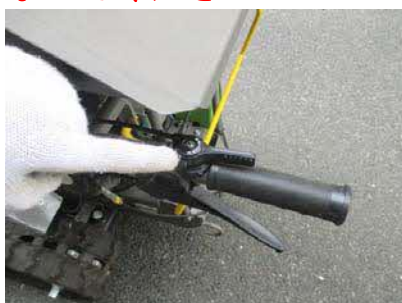
⑥ 粉碎作業が終わったら、送りスイッチを「停止」、スロットルレバーを「低」の位置に戻してください。

ロータークラッチレバーを **5秒ほどかけてゆっくり**「切」に戻してください。

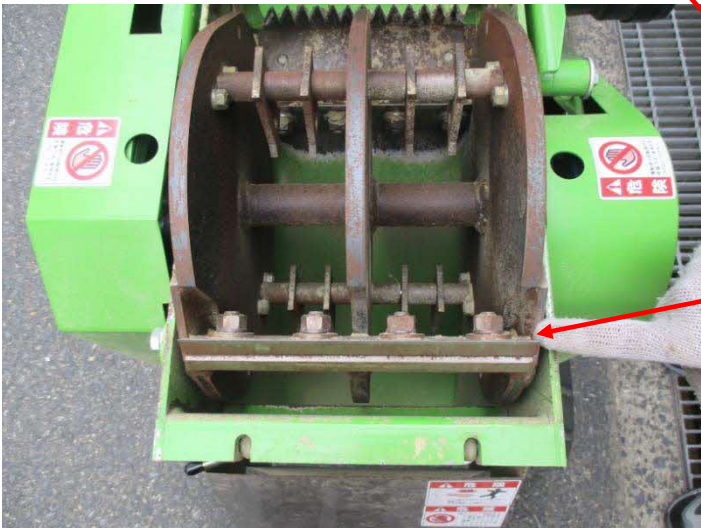
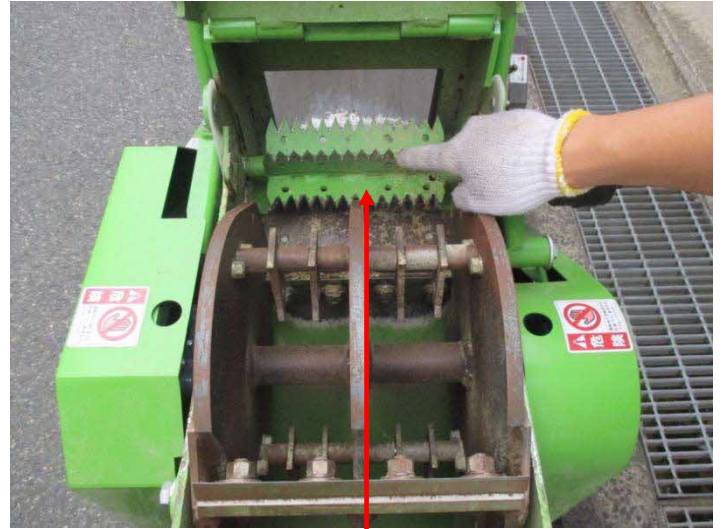
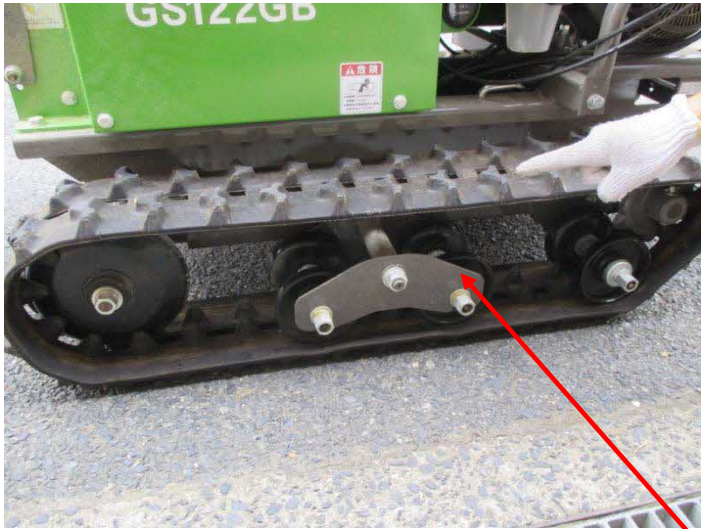
シフトレバーが「N」、走行クラッチレバーが「切」にあることを確認して、エンジンを停止させてください。

※エンジン停止後もしばらくの間、中のナイフが回転します。

すぐにカバーを開けないでください!!



- ⑦ 粉碎作業後、汚れがひどい場合は清掃してください。  
粉碎機は、雨がつかからないよう、屋内で保管してください。  
また、盗難防止のため、エンジンキーを抜いて別の場所に保管してください。  
返却時は、**レギュラーガソリンを満タン**にして頂くようお願いします。



粉碎作業終了後、可能な範囲で、  
写真の各部位の清掃をお願いします。  
ナイフ部は大変切れやすくなっていますので、  
ご注意ください。

## 重要

竹粉碎機を使用する時は、手袋・保護メガネ・耳栓を着用の上、  
取り扱い説明書・使用手順書をよく読み安全に使用してください。

竹を粉碎する時は、**一人で作業しないでください。**

必ず、複数人で使用し、講習を受けた人と一緒に作業してください。

粉碎機についてのお問い合わせは、北栄町役場 産業振興課までお願いします。

所在：北栄町由良宿 423-1 北栄町役場大栄庁舎 2階

[TEL:0858-37-3152](tel:0858-37-3152)

FAX:0858-37-5339